

JFEシビル 北陸システム建築協力が総会 西村会長(中越鉄工社長)を再任

藤井社長「全国のけん引役を」



挨拶する西村会長



挨拶する尾島支社長



挨拶する藤井社長

JFEシビル北陸営業所(所長・東司氏)管内の施工店などで構成するJFE北陸システム建築協会(会長・

西村仁中越鉄工社長)は22日、福井県内の芦原温泉「つるや」において「平成29年度定期総会」を開催した。

総会では冒頭、西村会長が「3月の全国会長会に参加したところJFEシビルは前年度好成績で、売り上げ・

利益とも計画を大きく上回ったと聞いた。今年の見通しも明るいようだ。今日は1年の締めくくりと今年の方角性について皆様のご審議をお願いしたい」と挨拶。

来賓として出席したJFEスチール北陸支社の尾島和彦支社長は「中部経済産業局による北陸経済動向は2カ月連続で『改善している』と発表。雇用も顕著に改善しているようだが、一方で人手不足が深刻だ。JFEシビルのシステム建築は省力化工法が特長。今後

さらなる発展が期待できる」。「昨年来、中国やオーストラリアなど海外要因を背景に原料価格の著しい変動に振り回されている。再生産可能な体制を維持するため、皆様に丁寧にご説明させていただきながら価格是正に取り組みしていきたい」と挨拶。続いてJFEシビルの藤井善英社長は「建築業界は地域による温度差はあるものの全般に需要が堅調。こうした中、当社は今年の売上高1千億円、5年連続の増益・最高益を目標に活動を進めている。そのカギを握るのが中核事業であるシステム建築だ」。「協会の発展とともに事業を成長させていきたいので、今後も技術開発やサービスを向上させ、皆様に使っていただける製品を目指す。北陸地区の皆様

には全国の協力をけん引するような活動をお願いしたい」と挨拶した。総会議事では各議案が承認されたほか、任期満了に伴う役員改選では全役員を再任。新入会員として三越建設工業(本社・福井県坂井市、社長・濱野一志氏)が紹介され、会員総数は28社となった。総会後に開催された講演会では、福井市立郷土歴史博物館の角鹿尚計館長を講師に招き「新発見! 坂本龍馬の手紙にみる福井藩」どのテーマで話を聞いた。